

梅之木通信

【週末縄文人の会】

第47号 2024.8.4 発行

2024年度 前期終了

予想されていたとは言え、この八ヶ岳でも想像以上の暑い日が続いていますが、みなさん体調管理と水分補給は十分ですか？ 体調管理に努めようと思っても、オリンピックでの選手の活躍が気になってつい夜更かしをしてしまいます。睡眠不足を補うため昼寝をしようと思っても、この昼間の暑さではあまり寝られずの悪循環を繰り返している人が多い今日この頃ではないかと思います。

8月3日、恒例の夏宴会で2024年の作業も前半戦を終わりましたが、解体作業といった新たな試みで今までになかった発見もあり、新たな刺激をもらった前期作業も無事終了することができました。

❖ 柱・梁の再組立て

解体した木材を使用して、元あった場所に復元してみますが、『この柱はこの穴？』『柱の向きは合っている？』『この梁はここでいいの？』解体した時に印を付けていたはずですが・・・

パズルの組み合わせを考えているようですが、いつもながら船頭が多いのであちらからもこちらからもいろいろな意見が出てきます。解体前の写真と照らし合わせながら、『この柱のコブはこっち向き？』『柱のこの曲がり方はこれじゃない？』と試行錯誤の末、やっと柱と梁の組み合わせが元通りに再現できました。なんせ、アナログ世代の人が多いので、いつも現場合わせばかりですが、これがシニアたちの頭の体操にはちょうど良い恰好な材料なのかもしれません。



柱の下部に虫食いによる腐食が見つかったため、柱を20cmほど短くせざるを得ません。するとその分高さも下がることになってしまいますが、柱の埋め込み部分を浅くし、さらに床面を少し掘り下げることにより以前の屋根の高さを維持する予定です。仮に置いた梁に垂木を置いてみて屋根の勾配を確認。また新たに開発した？南さん作成の分度器が登場。4号棟の屋根の勾配に比べて、3号棟の屋根の傾斜が急であったことを考慮して、35度から30度程度の傾斜角にし、垂木もあまり土に埋めない方法で腐食対策をおこなうことを検討しています。

❖ 床面の掘り下げ、垂木腐食部分切断

またまた、ビニール管水準器の登場です。山側が高く炉周りが低く、床面にも結構な高低差ができていました。周りの土手部分の高さも合わせて盛り土し直して、土台部分の作業を終了としました。



柱と違い垂木の土中部分は雨の影響が大きく腐食部分も広範囲。明野にあるビヨンドの人たちにも作業に参加してもらいました。手よりも口ばかりの人ではなく、若い人たちに期待が高まります。

❖ 夏の宴会

最初の頃は、鹿肉・猪肉とこだわっていましたが年とともにだんだん普通のバーベキューに。それでも、木陰で風を感じながらの食事はなによりの贅沢なご馳走です。佐藤さんちのスイカも美味しくいただきました。



後期高齢者ならぬ晩期高齢者？ 5人組！！
本人たちは晩期**功労者**と称したいようですが・・・
フレイルなどどこ吹く風のこの笑顔！
社協や介護支援課の人たちに見てもらいたものです。

❖ 秋の作業開始は9月中頃を予定していますが、今年の暑さはまだまだ続きそうですので体に気をつけてお過ごし下さい。また8月末頃には参加予定表でスケジュールをお知らせしたいと思います。

❖ 今年のふるさと倶楽部まつり（9／28）でも展示を予定しています。みなさんでお越しください。